

会議録

会議の名称	平成 25 年度第 1 回西東京市地域コミュニティ検討委員会
開催日時	平成 25 年 4 月 22 日午後 6 時 30 分から 8 時 30 分
開催場所	西東京市役所田無庁舎 3 階庁議室
出席者	委員：伊村委員（委員長）、伊藤（圭）委員（副委員長）、鶴野委員、工藤委員、志村委員、菅野委員、土方委員、丸山委員、栗山委員、伊藤（光）委員、幸内委員、土谷委員 事務局：生活文化スポーツ部長、協働コミュニティ課長、協働コミュニティ課長補佐兼）市民活動推進係長、協働コミュニティ課市民活動推進係主事、企画政策課主査、危機管理室副主幹、生活福祉課調整係長、高齢者支援課地域支援係長、教育指導課課長補佐兼）指導係長
報告事項	(1) 西東京市地域コミュニティ基本方針について (2) 西東京市自治会・町内会ガイドブック、ハンドブック及びみんなで加入しよう自治会・町内会（パンフレット）について (3) 「いこいーなの地域いーな通信 第 5 号」発行について (4) 西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書について
議題	(1) 今後の進め方について (2) （仮称）地域協議体およびモデル事業について (3) （仮称）地域協議体のモデル地区の指定について
その他	(1) 次回検討委員会開催日
会議資料の名称	資料 「資料 1」今後の進め方について 「資料 2」（仮称）地域協議体およびモデル事業について 「資料 3」（仮称）地域協議体のモデル地区の指定について 西東京市地域コミュニティ検討委員会設置要綱 西東京市地域コミュニティ検討委員会委員名簿 西東京市地域コミュニティ基本方針 西東京市地域コミュニティ基本方針（概要版） 西東京市自治会・町内会ガイドブック 西東京市自治会・町内会ハンドブック みんなで加入しよう自治会・町内会（パンフレット） 西東京市地域コミュニティ基本方針等配布先一覧 いこいーなの地域いーな通信（第 5 号） 西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書 西東京市報 4 月 15 日号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

1 開会

事務局：

平成 25 年度第 1 回西東京市地域コミュニティ検討委員会を開会する。

2 委嘱状伝達

(市長より各委員へ委嘱状の伝達)

3 市長あいさつ

事務局：

それでは、西東京市長よりご挨拶申し上げます。

○市長：

(市長あいさつ)

4 検討委員自己紹介

(検討委員の自己紹介)

5 事務局紹介

(事務局職員体制の紹介)

6 報告事項及び課題の確認

事務局：

それでは、本日の課題の確認をさせていただく。

(報告事項と課題の確認)

本日の委員会の資料の確認をさせていただく。

(会議資料の確認)

7 検討委員会の運営

事務局：

続いて検討委員会の運営について説明を行う。

(検討委員会の運営についての説明)

会議録の記録方法の選択について、特に意見がないようであれば、発言者の発言内容ごとの要点記録として取り扱いさせていただく。

8 委員長及び副委員長の選出

事務局：

西東京市地域コミュニティ検討委員会設置要綱第 5 の規定に基づき、本委員会の委員長及び副委員長の選出を行う。

先に事務局から提案させていただきたい。昨年度まで本委員会の委員長として委員会をまとめていただいた伊村委員に引き続き委員長をお願いしたい。また、副委員長についても昨年度まで副委員長として委員長を支えて委員会をまとめていただいた伊藤委員をお願いしたいと思うがいかがか。(拍手)

事務局：

委員の皆様にご同意していただけたので、委員長を伊村委員、副委員長を伊藤委員とさせていただきます。各委員から一言抱負をいただきたい。

委員長：

委員の皆様にご支えてもらいながら進めて行きたい。

副委員長：

より良い西東京市をつくるために尽力したい。

事務局：

委員長が選出されたので、以後の進行は、委員長をお願いしたい。

9 報告事項

報告事項 (1) 西東京市地域コミュニティ基本方針について

委員長：

事務局より報告事項についての説明を願いたい。まず、報告事項 (1) 西東京市地域コミュニティ基本方針について事務局から説明願いたい。

事務局：

(西東京市地域コミュニティ基本方針について説明)

委員長：

事務局から説明があつたが、何か、意見や質問などはあるか。
意見がないようなので、次の議題に移りたいと思う。

報告事項 (2) 西東京市自治会・町内会ガイドブック、ハンドブック及びみんなで加入しよう自治会・町内会 (パンフレット) について

委員長：

報告事項 (2) 西東京市自治会・町内会ガイドブック、ハンドブック及びみんなで加入しよう自治会・町内会 (パンフレット) について事務局から説明願いたい。

事務局：

（西東京市自治会・町内会ガイドブック、ハンドブック及びみんなで加入しよう自治会・町内会（パンフレット）について説明）

委員長：

事務局から説明があったが、何か、意見や質問などはあるか。

委員：

市議会にも配布されているか。3月議会の前に配布しているのか。

事務局：

市議会にも配布されている。基本方針は3月議会の前に配布している。ガイドブック・ハンドブックは作成に時間がかかったため、3月議会のあとに配布を行った。

委員：

配布後の議会の反応はどうだったか。

事務局：

今後も引き続き頑張してほしいとの声が多かった。

委員長：

他にはないか、いかがか。

意見がないようなので、次の議題に移りたいと思う。

報告事項（3）「いこいーなの地域いーな通信 第5号」発行について

委員長：

「いこいーなの地域いーな通信 第5号」発行について事務局から説明願いたい。

事務局：

「いこいーなの地域いーな通信 第5号」について説明

委員長：

事務局から説明があったが、何か、意見や質問などはあるか。

委員：

自治会・町内会調査について4月下旬から5月上旬と記載があるが、ガイドブックに記載されている変更届と同じようなものか。また、情報提供についての同意は今まで行っていたのか。

事務局：

基本的には変更はない。情報提供についての同意は平成 24 年度の調査時から実施している。現在 235 の自治会・町内会が存在しているが、全部確認をしている。

委員：

同意するといっている自治会・町内会はどの位あるのか。

事務局：

ほとんどの自治会・町内会に同意してもらっている。おおよそ 9 割以上が同意されていると思われる。

委員：

名簿の集約は協働コミュニティ課一本にするのかどうか。

事務局：

現時点では一本化は考えていない。それぞれの機関で集約しているものはそのまま継続していただき、協働コミュニティ課のものと並行に集約することを考えている。

委員：

ある自治会・町内会から聞いた話だが、役員等が変更になると 4 か所の機関に変更があった旨の連絡を行っており、大変な思いをしているところもあると聞いている。一本化した方が良いのではないか。

事務局：

現在、市民の方から一本化についての要望等も聞いていない。今まで各自治会・町内会で行ってきた方法を変更することで、市民にも戸惑いが生じることも考えられ、また、情報伝達を行うところで、正しく情報が伝わらなくなることも考えられ、結果として市民の方々にご迷惑をお掛けすることも考えられることから、しばらくは、今までの方法で対応して、必要があれば検討する方向で考えている。

委員長：

この仕組みが出来上がるまでは既存のままで進めて、仕組みが出来上がったところで、吸収していけば良いのではないか。

委員長：

他にはないか、いかがか。

意見がないようなので、次の議題に移りたいと思う。

報告事項 (4) 西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書について

委員長：

「西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書について」発行について事務局から説明願いたい。

事務局：

「西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書」について説明

委員長：

事務局から説明があったが、何か、意見や質問などはあるか。

事務局

平成 25 年 4 月 17 日に委員長と副委員長で市長へ西東京市地域コミュニティ検討委員会の 2 年間の検討報告を行っていただいた。市長への報告の様子を委員の皆様にお話しいただきたい。

委員長：

市長への報告では、2 年間の検討の成果の話や、自治会・町内会の把握やガイドブック・ハンドブック等の作成について関係機関と連携して進めてきたことなどを報告した。

昨年 12 月に開催した防災のワークショップでは、警察署や消防署、市役所、福祉施設など色々な防災拠点となる施設を見学させていただき、地域横断で、地域防災について地域で考えていかなければならないと感じられた。

また、地域の方々の日頃からの支えを横で連携できるような仕組みができれば良いという話をさせていただいた。

副委員長：

モデル地区での事業を通して地域で「地域力」を育て行くことが必要ではないかという話もあった。昨年実施した防災ワークショップも地域の方々からみて好評だったときいているので、こういった事業を行うことがきっかけで地域が育っていくのではないかという話をした。

委員長：

4 つの地域割りで実施していくことについての話もあったが、町ごとに（仮称）地域協議体が設立できる地域と立てられない地域があると思うので、まずはモデル地区を選んで、進んで防災や防犯活動などをやっていけるところを支援し、これをモデルに他の地域にも波及させることができれば良いと思われるので市長にも話をした。また、視察した立川市や調布市のようなコミュニティをつくるためには、何十年もかけて作っており、すぐには成果が出にくいため長い目で育てることも必要だという話もさせていただいた。

委員長：

他にはないか、いかがか。

意見がないようなので、次の議題に移りたいと思う。

10 議題

議題（1）今後の進め方について

委員長：

議題（1）今後の進め方について事務局から説明願いたい。

事務局：

（資料1について説明）

委員長：

事務局から説明があったが、何か、意見や質問などはあるか。

委員長：

資料1については、単年度の話か。

事務局：

今後2年間で検討していく予定である。

委員長：

今後、担い手育成、人材育成について自治会・町内会ガイドブックを活用し、自治会・町内会長を集めて、具体的な活動の講習会のような機会を作ってはいかがか。

各自治会・町内会長にも協力いただいた記事の内容のように、既存自治会・町内会を伸ばすような方法で取り組んではいかがか。

事務局：

今後、検討する。

委員：

自治会・町内会との懇談会はどのような方法で行うか。

事務局：

日常生活圏域ごとに懇談会を行いたい。近隣の自治会・町内会を知りたい、交流したいという意向が自治会・町内会からも要望があるので、ガイドブックの説明と消防署や警察署の協力もいただき懇談会を行いたい。できれば7月一杯ぐらいまでに説明会が開催出来ればと考えている。

委員長：

防災・防犯に係る人材育成についてイメージがあるのか。

事務局：

自治会・町内会等、地域の方々を巻き込んだワークショップ等を開催し、防災や防犯に対する意識付けを行うような取組が行えればと考えている。

委員：

自治会・町内会同士の、連絡会議も必要ではないか。また、地域での問題点を出し合ってもらい機会として自治会連合を作ってもらいことも良いのではないか。

委員：

以前は、田無地区にはあったと記憶している。自治会・町内会、商店街などが参加する防災などの実践会があったが、1回で終わってしまったと記憶している。それぞれの代表者がプラカードをもって防災訓練なども行っていた。一度だけの開催だったが、多くの市民が集まったと記憶している。

委員長：

文京区の防災訓練に参加したことがあるが、グラウンドに町内会・自治会ののぼりを持って集合して、各班に分かれ、消火訓練や交通安全訓練などを行っていた。消防、警察、郵便局、PTA、ボーイスカウト等様々な組織の方が参加していた。

委員：

先程の防災訓練などの話だが、田無地区で道路を封鎖して色々なイベントを行っていたと記憶している。

委員：

自治会などのお祭りがあると他の地区の子どもたちを受け入れない風潮がある。自治会・町内会未加入の子どもなども多い。定年退職者が地域活動したいが、どうしたら良いかわからないという人も多い。以前、防犯活動をやりたいという人もいたが、その人が住んでいるところに支部がなかったが、防犯協会に入ってもらったら、非常に活発な人であった。こういったとっかかりが必要だと思われる。

委員：

自治会と懇談会を行い、参考になることは、取り入れ、連携できることは連携するような6町が連合体として活動していただければ、第二期は実践に入る 辛抱強くやるしかない。

委員：

自治会・町内会は何なのか。縛りがない任意の組織。(仮称)地域協議体で想定している団体は企業、学校などその他の団体は縛りがある。自治会・町内会は、会員の自発性でしか保っていない。その辺りを考えなければいけない。(仮称)地域協議体を運営する場合も自発性を出すようにやっていると自治会・町内会活動に参加してこないと思われる。

委員長：

地域の中で自治会・町内会同士など串を横にさすイメージで、上から網をかけるようにやりなさいと言っても駄目だと思うが、やりたいと思う人が率先して行い、やる気のある自治会・町内会を育てることにより、波及効果で他の自治会・町内会の育成にも繋がると思われる。

今後２年間で繋がりたいところを掘り起こし、自治会・町内会活動を後押しすることが必要だと思われる。

委員長：

他にはないか、いかがか。

意見がないようなので、次の議題に移りたいと思う。

議題（２）（仮称）地域協議体およびモデル事業について

課題（３）（仮称）地域協議体のモデル地区の指定について

委員長：

議題（２）（仮称）地域協議体およびモデル事業について、（３）（仮称）地域協議体のモデル地区の指定について事務局から説明願いたい。

事務局：

（資料２、３について説明）

委員長：

事務局から説明があったが、何か、意見や質問などはあるか。

委員長：

（仮称）地域協議体のモデル地区を指定してモデル事業を実施するおおよそのスケジュールを伺いたい。

事務局：

まず、本日の委員会で、昨年度までの委員会でもお話をさせていただいていたモデル地域を南部地域で良いか否か判断していただきたいと考えている。モデル地域が決まったところでその地域でどのような主体があるのか調査を行い、どの組織や団体が協力していただけるのかを確認したい。

これを踏まえて、（仮称）地域協議体の委員の選出をできれば夏くらいまでに進めたい。また、第１回目の（仮称）地域協議体の会議を秋ごろに行いたい。

委員長：

モデル事業はどのようなもので、いつ行うのか。

事務局：

（仮称）地域協議体で行っていく事業については、地域の課題を抽出していただき、抽出していただいた課題に関係する地域で連携してできるようなモデル事業を検討していただくことで考えている。この他に、広域的に取組めるモデル事業も検討したいと考えている。準備が出来次第順次進めていきたいと考えている。広域的に取組めるモデル事業は早くて7月頃に実施できればと考えている。

委員長：

モデル地域を南部地域で良いか、この場でお諮りしたいがいかがか。（拍手）
ご意見等がないようなので、南部地域をモデル地域とする。

11 その他

その他（1）次回検討委員会開催日について

○委員長：

次回検討委員会開催日について、事務局から開催時期の提案があるか。

事務局：

次回の検討委員会は、7月上旬を予定している。